

この人この戦略

産業用自動化機器の製造が主力で、六月にコンデンサーなどの電子部品をプリント基板に取り付ける装置「ボードペッカー」の特許権や営業権を、シチズン

ミヨタ（現シチズンファイナテックミヨタ）から取得した。「ボードペッカー」を販売するとともに、「ボードペ

カー」にカメラをつけて、作業工程を確

認できる機能を追加した新製品の開発も進めている。取り付け速度も速め、「自社ブランドの製品として、事業の柱に育てたい」と意気込む。

二〇〇七年十二月期の売上高は約二十九億円。そのうち、半

導体や自動車部品などのメーカーの要望に応じて、産業機械をオーダーメイドする事業の売り上げが二十二億円を占めている

が、「景気動向に左右されるリスクがある」のが実情。ボード

ペッカーなどの既製品事業の充実を目指すのは、そうしたり

スクを減らし、「安定的な成長を続けていくために必要」と考えたからだ。

「ボードペッカー」を柱とす

る「実装機器事業」の〇九年六

月期の売上高は七億円の見通し。半導体チップを決められた

場所に移す装置や、プリント基板にチップを張り合わせる装置など自社開発商品の販路も拡大させ、同期の売上高は同社全体

で三十八億円を目指すという。

ながのサンデー経済

アジアへの展開も視野に入れ

る。ことし七月に福岡市内に支社を新設して営業担当者二人を常駐させ、中国、ベトナムなどに進出する足掛かりをつくつ

準備も進める。「会社の業績や市況の動向を見極めながら、上場のタイミングを探りたい」と

する。

旧北佐久郡望月町（現佐久市）出身。長野市の長野高専卒業後、

安定成長が目標

自社ブランド製品柱に

铸造機械メーカー勤務などを経て、七八年にプリンターなど製造のミマキエンジニアリング

（東御市）に入社。主に産業機

械の設計開発を担当した。同社

が産業機械部門を廃止したのを

機に、事業を引き継ぐ形で現在の会社を立ち上げた。昨年

から

佐久市内の自宅近くで稲や大

豆、ジャガイモなどの栽培を始

め、「自然と向き合うと気分がリ

フレッシュする」。妻、次男夫婦、

孫と五人暮らし。五十八歳。

アルファデザイン社長（東御市）

もりさわ まさよし
森沢 正良さん



た。大手商社などと連携して販路開拓などを進め、早ければ年内に輸出を始める。受注拡大が見込めれば、シンガポールにも営業拠点を設ける考えだ。

一九八九年にアルファデザインを設立して二十年近く。優秀な人材を集めるため、会社の信用力や知名度を高める必要があるとして、株式上場に向けた